

育成料のあり方検討部会の中間報告について

1 スケジュールについて

	開催日	内容
第1回	5月21日	現状分析の報告・検討 意識調査（案）の提示
第2回	8月21日	意識調査結果の報告 意識調査結果を踏まえた育成料のあり方検討
第3回	11月予定	追加シミュレーションの提示 方向性の決定
第4回	1月下旬～ 2月上旬予定	答申（案）の決定

2 意識調査結果の概要について

(1) 調査方法・回答数

調査方法 Web アンケート

周知方法 広報まちだ（2024年7月1日号）、まちだ子育てサイト、
学校・保護者間連絡ツール（tetoru）にて公立小学校の保護者に通知

調査期間 2024年7月3日（水）～7月17日（水）

調査対象 町田市内の小学生（約2万人）の保護者（世帯につき1回答まで）

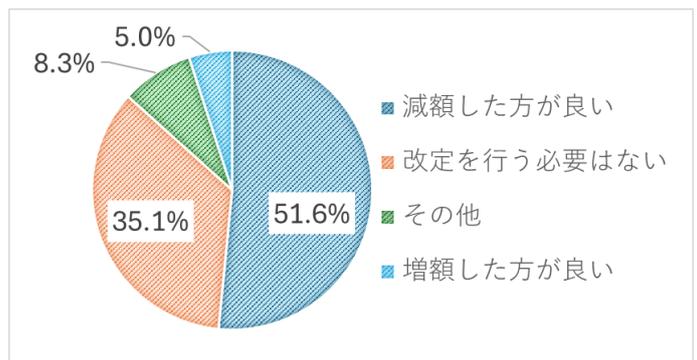
回答状況 以下参照

調査年度	調査対象	回答数	入会世帯				未入会世帯		
			児童数	世帯数	回答数	回答率 (対世帯数)	児童数 (概算)	回答数	参考回答率 (対児童数)
2024年度	公立小学校全児童 約20,000人	2,915	5,174	4,415	1,746	39.5%	15,000	1,169	7.8%
2016年度	2,000世帯	1,141	3,622	3,358	404	12.0%	19,000	737	3.9%

(2) 主な設問の結果

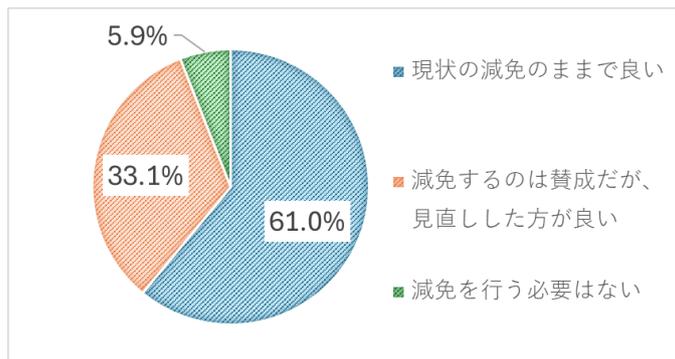
問4. 育成料（利用料）について、あなたの考えにもっとも近いものをお選びください。（1つ選択）

設問	回答数	回答割合
改定を行う必要はない	1,024	35.1%
増額した方が良い	145	5.0%
減額した方が良い	1,503	51.6%
その他	243	8.3%
合計	2,915	100.0%



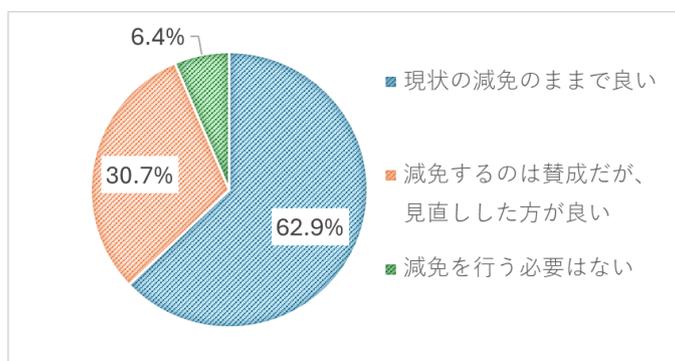
問5. 所得の低い世帯の育成料（利用料）は、減免されています。所得の低い世帯への配慮について、考えに近いのはどれですか。（1つ選択）

設問	回答数	回答割合
現状の減免のままで良い	1,778	61.0%
減免を行う必要はない	173	5.9%
減免するのは賛成だが、見直した方が良い	964	33.1%
合計	2,915	100.0%



問6. 子どもの多い世帯への配慮について、あなたの考えにもっとも近いものはどれですか。（1つ選択）

設問	回答数	回答割合
現状の減免のままで良い	1,833	62.9%
減免を行う必要はない	187	6.4%
減免するのは賛成だが、見直した方が良い	895	30.7%
合計	2,915	100.0%



3 意識調査結果を踏まえた育成料のあり方検討の基礎資料

資料2参照

4 第2回育成料のあり方検討部会（8月21日実施）での主な意見

- ・増額して受益者負担割合が50%になるシミュレーションもしてほしい。
- ・受益者負担割合の推移が増加傾向にあり、金額を据え置いても50%、もしくは50%を超える可能性もある。
- ・可能であれば減額、難しければ現状維持が好ましい。

5 今後の予定

- ・事務局から、検討部会の意思を踏まえたシミュレーションを追加提示する。
- ・第2回検討部会の欠席者の意見も踏まえたうえで、第3回検討部会（11月開催）で方向性をまとめる。